

愛知県豊川市農業委員会（女性農業委員の登用）

【農業委員会の体制】（令和5年7月20日任期開始 新制度移行後3期目）
農業委員19名、農地利用最適化推進委員15名、事務局職員6名

1 地区の特徴・状況、課題

豊川市は、大葉、トマト、花きなど施設園芸が盛んな地域であるが、コロナをきっかけに農事組合の解散や農業者同士の関係が希薄になっている。この背景から農業委員の推薦組織が減ってしまった。また認定農業者のほとんどは、男性のため、認定農業者過半の要件を満たすために農業委員の確保が課題となった。

2 課題解決に向けた活動（女性農業委員の登用）

認定農業者に準ずる者を任命できる農業委員会の要件「認定農業者数が農業委員定数の8倍を下回る場合」の倍数を8倍から30倍に緩和できる法改正によって、女性の農村生活アドバイザーや農協等、関係団体への周知を行った。また、現職の女性委員には、女性の推薦、応募がされるように働きかけを行ったり、女性委員と関係団体が共同で市長に女性登用の要請活動を行う機会を設けた。



3 活動の成果

- 認定農業者に準ずる者として女性を推薦してもらいやすくなり、女性農業委員が1名から4名に増えた。
- 農業委員19名のうち、今回の改選で13名が新任委員になったが、女性の新任委員は、分からないことを全体の場で質問されることが多いため、男性の新任委員を含め、全員の知識が高められている風土ができている。また、地域計画に関する動きも女性農業委員は全体的にフットワーク軽く動き出している。